中野キャンパス　〒298-0271 千葉県夷隅郡大多喜町中野 589　TEL:0470-83-0830　FAX:0470-64-6350

三育学院中学校

２０２１年５月号

Building Character

『 偏見・先入観 』

４月 28 日にプロカメラマンが来校され、早朝から夜まで一日の生徒の風景を撮影していかれました。この日の撮影の時だけは、マスクをはずして撮ってもらいました。写真撮影の時気づいたことがありました。それは、この４月から入ってきた新入生が、マスクをとって写真に写っていた時、マスク越しでしか顔を認識していなかった私の脳は、この子ははたして誰だったかなと混乱していたのです。手で口の部分を隠してみるとすぐに誰だかわかりました。マスクを着けていない顔の方が、情報量としては多いはずですから、人を認識する上では有利なはずなのですが、マスクをつけていることが完全に日常となった中でおそらく私の脳は、その子の目の付近の情報から勝手に鼻から下のイメージを作り上げてしまっており、実際にマスクをとった姿を見たときに認証できないという状況が生じてしまっていたのだろうと思います。

同様のことは、自分の顔を鏡で見ているときにも起こります。いつも自分が鏡に映してみている自分の顔は、周りのみんなが実際に自分を見ているときの顔と左右が逆だという事実を私たちは時々忘れています。鏡の中にもう一枚の鏡が映り込んでそこに写っている自分の顔を見たときにいつもと違うと私の脳は感じるわけです。しかし、そちらが本当に周りから見えている自分の姿なのだという当たり前のことを忘れてしまっていて、違和感に出くわしてしまうというようなことが私たちの周りでは、しばしば起こります。

最近 zoom や meet を使って会議をする際に始める前にカメラの調整していて「マイビデオのミラーリング」という機能が備えられていることに気づきました。ふつうはカメラの前で右手を上げると画面の向こうでは鏡のようにではなく実際に右手を上げるように映るのですが、ミラーリングの機能をオンにすると PC のディスプレーが鏡のようになって左右逆転して映るのです。この機能が用意されているということは、どうしてもそうでないと落ち着かないという方がおられるのだろうと思います。人それぞれ慣れ親しんだものとの向き合い方には違いがあるのだろうと思いました。

人を見るときに固定観念で見てしまうことは、大切なものを見落としてしまうことにつながりかねません。「偏見・先入観」という言葉の英語は、prejudice という単語のようですが、その言葉の語源は pre + judge つまり、あらかじめ、判断する（裁く）という言葉からきているとのことでした。意識して止めない限り、私の脳は勝手に判断してしまうようです。気をつけたいところです。

「目をまっすぐに前に注げ。あなたに対しているものにまなざしを正しく向けよ。」（箴言４：２５）

久我原キャンパス　〒298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500　TEL:0470-84-0111　FAX:0470-84-0076